



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 株式会社昭和真空 上場取引所 東  
コード番号 6384 URL <https://www.showashinku.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 小俣 邦正  
問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員常務 (氏名) 田中 彰一 TEL 042-764-0392  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	4,483	△1.2	90	—	116	—	53	—
2024年3月期第3四半期	4,535	△37.5	△139	—	△117	—	△105	—

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 0百万円(△96.4%) 2024年3月期第3四半期 24百万円(△96.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	8.66	—
2024年3月期第3四半期	△17.06	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第3四半期	15,223	10,966	72.0	1,778.91
2024年3月期	14,334	11,397	79.5	1,849.71

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 10,966百万円 2024年3月期 11,397百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,662	16.1	466	137.9	465	90.8	297	80.8	48.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	6,499,000株	2024年3月期	6,499,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	334,049株	2024年3月期	336,949株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	6,163,229株	2024年3月期3Q	6,159,840株

(注) 期末自己株式数には、「従業員株式給付信託(J-ESOP)」の信託財産とし(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式63,400株が含まれております。また、(株)日本カストディ銀行(信託E口)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
 監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件などについては、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(収益認識関係)	11
3. 補足説明	12
(1) 生産、受注及び販売の状況	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における世界経済は、インフレの沈静化などを背景に地域による異なりはあるものの緩やかな回復基調となりました。しかしながら地政学リスクの高まりや、中国不動産市場の停滞など不安定要素もあり、不確実性が高い状況が続いております。

わが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策効果もあり緩やかな回復が続いておりますが、不安定な国際情勢、エネルギー価格の高騰に伴う物価の上昇、急激な為替変動等による世界経済の下振れがわが国経済を下押しするリスクは続いております。

当社グループを取り巻く経営環境を見ると、主要取引先電子部品メーカーの在庫調整は進展しているものの、生産回復のペースは緩やかであり、また自動車市場の変調などを見据え設備投資に対する慎重な姿勢が継続しました。

こうした環境の中、当社グループは、国内外デバイスメーカーの生産状況や次世代製品開発動向の把握に努め、適時に適切な製品提案をするとともに、顧客からのサンプル成膜依頼や顧客との共同開発に積極的に取り組むことで、電子部品メーカーを中心とした新規先からの受注を獲得しました。また、既存の顧客である一部の国内外水晶デバイスメーカーより大口受注を獲得するとともに、海外光学メーカーからも第1四半期に大口受注を獲得しております。

生産面では、受注残及び受注予定案件を見据えた生産体制を整えるなど効率的な生産に努めましたが、顧客事情などによる納品スケジュールの後倒しが発生し、売上に影響しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は68億95百万円(前年同四半期比139.1%増)、売上高は44億83百万円(同1.2%減)となりました。損益につきましては、経常利益1億16百万円(前年同四半期は1億17百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純利益53百万円(前年同四半期は1億5百万円の損失)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

#### ①真空技術応用装置事業

真空技術応用装置事業の受注高は52億2百万円(前年同四半期比257.5%増)、売上高は23億89百万円(同14.9%減)、セグメント利益は1億34百万円(同21.4%減)となりました。

業界別の状況は以下のとおりです。

#### (水晶デバイス装置)

水晶デバイス業界では、世界のスマートフォン出荷台数が回復基調にあり、水晶デバイスメーカーの在庫調整が一巡したことなどによりデバイスメーカーの設備稼働率が回復傾向となったことや、米中関係の影響による生産拠点の多様化に伴い、一定の受注を確保することができました。売上に関しては、顧客事情による装置出荷時期の変更などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

水晶デバイス装置の受注高は18億61百万円(前年同四半期は14百万円)、売上高は11億5百万円(前年同四半期比24.6%減)となりました。

#### (光学装置)

光学業界では、第1四半期に海外メーカーよりスマートフォンのカメラレンズに係る増産設備として大口受注を獲得しておりますが、デバイスメーカーの設備投資は、スマートフォンを含む最終製品の需要が回復基調であるものの、市場全体では低調に推移しております。売上に関しては、顧客の設備導入準備の遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

光学装置の受注高は19億39百万円(前年同四半期比771.2%増)、売上高は1億56百万円(同59.6%減)となりました。

## (電子部品装置・その他装置)

電子部品業界では、新規先を含め様々な用途に向けた営業を行うとともに、顧客との共同開発やサンプル成膜依頼に積極的に取り組むことを通じて引合い案件の増加に努め、新規先からの受注獲得を継続しております。売上に関しては、顧客の設備導入準備の遅延などにより納品スケジュールが後倒しとなる案件がありました。

電子部品装置・その他装置の受注高は14億1百万円（前年同四半期比15.1%増）、売上高は11億28百万円（同17.8%増）となりました。

## ②サービス事業

サービス事業につきましては、ユーザーに対する定期的な稼働状況確認による潜在ニーズの掘り起こしや顧客への生産性向上提案による装置の改造工事、保守・メンテナンス受託や消耗品販売に努めた結果、光学デバイスメーカーの生産性向上ニーズに係る大口改造工事の売上がありました。

サービス事業の受注高は16億92百万円（前年同四半期比18.5%増）、売上高は20億93百万円（同21.3%増）、セグメント利益は6億22百万円（同36.0%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は116億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億59百万円増加しました。これは主に売掛金が6億98百万円、受取手形が2億32百万円減少したものの、仕掛品が16億19百万円、現金及び預金が3億57百万円増加したことによるものです。固定資産は36億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億71百万円減少しました。これは主に時価評価により投資有価証券が1億55百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は152億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億88百万円増加しました。

## (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は31億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億96百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金が7億30百万円、電子記録債務が6億85百万円増加したことによるものです。固定負債は10億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ22百万円増加しました。これは主に長期リース債務が5百万円減少したものの、退職給付に係る負債が28百万円増加したことによるものです。

この結果、負債合計は42億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億19百万円増加しました。

## (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は109億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ4億31百万円減少しました。これは主に利益剰余金が3億82百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は72.0%（前連結会計年度末は79.5%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2024年11月8日付「2025年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値と実績値の差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

当社グループを取り巻く市場動向を注視し、連結業績予想数値に見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,355,778	5,713,272
受取手形	571,946	339,470
売掛金	2,438,874	1,739,885
商品及び製品	1,550	820
仕掛品	1,576,022	3,195,980
原材料及び貯蔵品	517,186	407,889
その他	97,697	221,683
貸倒引当金	△1,814	△1,856
流動資産合計	10,557,240	11,617,147
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	941,024	883,838
機械装置及び運搬具(純額)	68,478	69,352
土地	1,970,562	1,970,562
建設仮勘定	3,945	8,875
その他(純額)	113,829	100,561
有形固定資産合計	3,097,841	3,033,190
無形固定資産		
リース資産	3,015	2,046
その他	68,057	69,606
無形固定資産合計	71,073	71,652
投資その他の資産		
投資有価証券	361,043	205,300
繰延税金資産	168,591	221,626
退職給付に係る資産	56,314	52,639
その他	23,078	22,644
貸倒引当金	△279	△981
投資その他の資産合計	608,747	501,228
固定資産合計	3,777,662	3,606,072
資産合計	14,334,902	15,223,219

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,648	1,114,961
電子記録債務	663,191	1,348,224
リース債務	10,529	7,739
未払費用	203,638	186,522
未払法人税等	11,707	44,387
前受金	213,328	224,964
賞与引当金	148,280	100,077
役員賞与引当金	16,000	21,000
製品保証引当金	58,000	47,000
工事損失引当金	-	15,000
その他	175,008	71,039
流動負債合計	1,884,333	3,180,917
固定負債		
社債	450,000	450,000
長期借入金	100,000	100,000
リース債務	18,579	13,144
退職給付に係る負債	358,935	387,140
株式給付引当金	49,793	49,880
長期末払金	75,282	75,239
固定負債合計	1,052,591	1,075,405
負債合計	2,936,924	4,256,322
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,177,105	2,177,105
資本剰余金	2,793,805	2,793,805
利益剰余金	6,225,128	5,842,494
自己株式	△313,430	△309,408
株主資本合計	10,882,608	10,503,996
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	203,420	120,576
為替換算調整勘定	301,172	333,378
退職給付に係る調整累計額	10,776	8,946
その他の包括利益累計額合計	515,370	462,900
純資産合計	11,397,978	10,966,897
負債純資産合計	14,334,902	15,223,219

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	4,535,682	4,483,368
売上原価	3,320,427	3,063,399
売上総利益	1,215,255	1,419,968
販売費及び一般管理費	1,354,870	1,329,131
営業利益又は営業損失(△)	△139,615	90,836
営業外収益		
受取利息	8,351	7,107
受取配当金	3,237	23,162
受取賃貸料	1,663	1,660
補助金収入	3,533	-
為替差益	5,611	17,037
その他	2,435	4,298
営業外収益合計	24,834	53,266
営業外費用		
支払利息	859	1,253
支払保証料	961	1,154
組合投資損失	-	24,703
その他	1,082	341
営業外費用合計	2,902	27,453
経常利益又は経常損失(△)	△117,683	116,650
特別損失		
固定資産除却損	512	670
特別損失合計	512	670
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△118,196	115,979
法人税、住民税及び事業税	6,378	78,104
法人税等調整額	△19,502	△15,475
法人税等合計	△13,123	62,629
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,073	53,350
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△105,073	53,350

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△105,073	53,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21,883	△82,844
為替換算調整勘定	107,794	32,205
退職給付に係る調整額	215	△1,830
その他の包括利益合計	129,894	△52,469
四半期包括利益	24,821	880
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24,821	880

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2020年11月6日開催の取締役会決議に基づき、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託(J-ESOP)」制度(以下、「本制度」という。)を2020年11月24日より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規程に基づき、一定の要件を満たした当社の従業員に対し当社株式を給付する仕組みです。当社は、従業員に対し当社の業績等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末は91,958千円、66,300株、当第3四半期連結会計期間末は87,935千円、63,400株です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,809,136	1,726,545	4,535,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,378	2,136	5,515
計	2,812,515	1,728,682	4,541,197
セグメント利益	170,939	457,752	628,691

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	628,691
セグメント間取引消去	18,577
全社費用(注)	△786,884
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△139,615

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,389,728	2,093,639	4,483,368
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,249	6,331	8,581
計	2,391,978	2,099,970	4,491,949
セグメント利益	134,274	622,317	756,591

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	756,591
セグメント間取引消去	24,538
全社費用(注)	△690,293
四半期連結損益計算書の営業利益	90,836

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	218,683千円	132,513千円

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,465,352	291,222	1,756,575
光学	385,891	797,506	1,183,398
電子部品	957,892	532,355	1,490,247
その他	—	105,460	105,460
顧客との契約から生じる収益	2,809,136	1,726,545	4,535,682
外部顧客への売上高	2,809,136	1,726,545	4,535,682

当第3四半期累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

(単位:千円)

	真空技術応用装置事業	サービス事業	合計
水晶デバイス	1,105,454	284,209	1,389,663
光学	156,010	966,627	1,122,637
電子部品	1,128,264	752,038	1,880,302
その他	—	90,763	90,763
顧客との契約から生じる収益	2,389,728	2,093,639	4,483,368
外部顧客への売上高	2,389,728	2,093,639	4,483,368

## 3. 補足説明

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ①生産実績

当第3四半期連結累計期間の生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,105,454	75.4
光学装置	156,010	40.4
電子部品装置	1,128,264	117.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,389,728	85.1
サービス事業		
改造工事	874,261	130.7
部品販売	852,535	129.9
修理・その他	365,325	91.3
サービス事業計	2,092,122	121.2
合計	4,481,851	98.8

(注) 上記の金額は販売価格によっております。

## ②受注実績

当第3四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
真空技術応用装置事業				
水晶デバイス装置	1,861,610	—	1,880,494	257.3
光学装置	1,939,547	871.2	3,819,553	279.8
電子部品装置	1,401,724	115.1	1,128,985	79.8
その他装置	—	—	—	—
真空技術応用装置事業計	5,202,881	357.5	6,829,032	194.5
サービス事業				
改造工事	472,751	127.6	411,620	109.0
部品販売	854,052	129.9	—	—
修理・その他	365,325	91.3	—	—
サービス事業計	1,692,128	118.5	411,620	109.0
合計	6,895,010	239.1	7,240,652	186.2

(注) 水晶デバイス装置の受注高の対前年同四半期増減率は1,000%を超えるため「—」と表記しております。

## ③販売実績

当第3四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日) (千円)	前年同四半期比(%)
真空技術応用装置事業		
水晶デバイス装置	1,105,454	75.4
光学装置	156,010	40.4
電子部品装置	1,128,264	117.8
その他装置	—	—
真空技術応用装置事業計	2,389,728	85.1
サービス事業		
改造工事	874,261	130.7
部品販売	854,052	129.9
修理・その他	365,325	91.3
サービス事業計	2,093,639	121.3
合計	4,483,368	98.8

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。